

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 (第2回)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	東広島市 (34212)
地域名 (地域内農業集落名)	吉川地区 (戸坂、市条、本郷、清水原、東郷、上横野、中横野、下野原、下横野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	131.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	101.2 ha
② 田の面積	117.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	14.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	8.6 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の大半の農地は、昭和62年に完了した吉川地区ほ場整備事業により基盤整備を実施した、優良水田で構成された水田地域である。 ・高齢化の進行により将来的な農地保全への危機感があることから、地域の話合いに基づき平成25年に農事組合法人よしかわを設立し、農地の集積を図っている。 ・農業経営者の高齢化から農事組合法人への追加加入や寄託希望が増え続けており、一方で実際に法人で作業を担う人材不足に悩まされている。現状では対応できてはいるが、将来的には地域の人口減少から後継者不足に陥り、更には法人にあってはいても担い手不足から経営の危機に瀕することが憂慮される。 ・地域において跡継ぎを地域に帰らせ定着させるUターンを促進する取組みを続けているが、地域では圃場整備をした1種農地が大半であるため、農地転用の厳しいハードルに挫折を繰り返し、農業後継者さえも居住する土地を確保しにくい現状があり、人口減少及び高齢化が顕著となっている。耕作継続が困難な農地の他用途への転用が進めば、地域の利便性確保や生活し易さの改善につながり、定住促進にも期待できることから、農業後継者の居住地確保が喫緊の課題となっている。 ・地域の農地を維持していくためには、法人の経営継続が必要であるが、水・草管理等地域での共同作業に対する前向きな意識が減っている。 ・米価が上昇しているものの、農業者の減少や高齢化等に伴う水の管理・草刈りの負担増等、営農環境が悪化している。 ・新たな産業団地の整備により、農業の経営環境が大きく変わろうとしている。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、水稻を主要作物とする。 ・関係農業戸数を守りつつ一定規模の農業後継者を確保することで、共助の活動が継続できるだけの集落規模を維持するべく、今後も定住受入れの促進を図りつつ、後継者の確保を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・地区内全域の農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地が農業上の利用が行われる区域とする。ただし、現在地域では、新たな産業団地の整備が計画されていることから、吉川地区の今後のまちづくりを踏まえた、調和のとれた土地利用に取り組む必要がある。 			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	43.9	%	将来の目標とする集積率
			55.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構を活用して、地域事情を考慮しながら団地面積の拡大を進めるとともに、農地集積を進める。 			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・規模縮小や離農を検討する農家があった場合には、農地利用最適化推進委員と連携し、農業経営に意欲のある人や拡大意向のある農業者等に集積・集約化することにより、耕作放棄地の発生防止や解消に取り組む。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・意向調査においては、農地中間管理機構の活用意向のある回答は68%であった。 ・農業をリタイア・経営転換する者は、目標地図に基づき、農地中間管理機構を通じて農地の貸借を行う。
(3)基盤整備事業への取組
・用排水路や水路敷の一部崩壊も始まっており、計画的補修も必要となってくるが、耕作を続けることが前提となる再整備には躊躇する農業者も多いことから、圃場整備については、地域での話し合い等を通じて検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・新規就農者を含め、地域内に限らず広く後継者を確保し、行政や農業団体等と連携を図りながら育成に努める(意向調査では、後継者有りが53%、新規就農者や企業受入可が75%)。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・意向調査における今後必要な取組みとして、「農作業の委託」の回答が多くなっていることも踏まえ、効率化が期待できる作業については委託することを検討し、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣害の被害が拡大しないよう防護柵等の設置及び適切な点検・管理を行うとともに、活動範囲が拡大しないよう、荒廃農地などの発生を抑える。
- ⑦多面的機能支払交付金事業に継続して取り組み、集落内の農地の保全や農業用施設(水路・農道)の維持管理を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	44経営体		88.4 ha	ha		88.6 ha	ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後				
		経営作目等	経営面積	#####	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	水稲、野菜、麦	56.2 ha	ha	水稲、野菜、麦	56.2 ha	ha	緑	
2	認農	野菜	0.5 ha	ha	野菜	0.5 ha	ha	青	
3	認就	野菜	0.0 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	橙	
4	到達	野菜	0.8 ha	ha	野菜	0.8 ha	ha	紫	
5	利用者	水稲、野菜、果樹、大豆	6.2 ha	ha	水稲、野菜、果樹、大豆	6.2 ha	ha	桃	
6	利用者	水稲	4.2 ha	ha	水稲	4.2 ha	ha	桃	
7	利用者	水稲	2.2 ha	ha	水稲	2.2 ha	ha	桃	
8	利用者	水稲、野菜	1.6 ha	ha	水稲、野菜	1.6 ha	ha	桃	
9	利用者	水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	桃	
10	利用者	水稲、野菜	1.3 ha	ha	水稲、野菜	1.3 ha	ha	桃	
11	利用者	水稲、野菜	1.3 ha	ha	水稲、野菜	1.3 ha	ha	桃	
12	利用者	水稲、果樹	1.2 ha	ha	水稲、果樹	1.2 ha	ha	桃	
13	利用者	果樹	1.1 ha	ha	果樹	1.1 ha	ha	桃	
14	利用者	野菜	1.1 ha	ha	野菜	1.1 ha	ha	桃	
15	利用者	水稲、野菜	0.9 ha	ha	水稲、野菜	0.9 ha	ha	桃	
16	利用者	水稲、野菜、大豆	0.9 ha	ha	水稲、野菜、大豆	0.9 ha	ha	桃	
17	利用者	水稲、野菜	0.8 ha	ha	水稲、野菜	0.8 ha	ha	桃	
18	利用者	水稲、野菜	0.8 ha	ha	水稲、野菜	0.8 ha	ha	桃	
19	利用者	水稲、野菜	0.6 ha	ha	水稲、野菜	0.6 ha	ha	桃	
20	利用者	野菜	0.6 ha	ha	野菜	0.6 ha	ha	桃	
21	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	桃	
22	利用者	野菜、花木、大豆	0.4 ha	ha	野菜、花木、大豆	0.4 ha	ha	桃	
23	利用者	水稲、野菜	0.4 ha	ha	水稲、野菜	0.4 ha	ha	桃	
24	利用者	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	桃	
25	利用者	野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	桃	
26	利用者	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	桃	
27	利用者	果樹	0.3 ha	ha	果樹	0.3 ha	ha	桃	
28	利用者	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	桃	
29	利用者	野菜、大豆、花き	0.2 ha	ha	野菜、大豆、花き	0.2 ha	ha	桃	
30	利用者	野菜、果樹	0.2 ha	ha	野菜、果樹	0.2 ha	ha	桃	
31	利用者	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	桃	
32	利用者	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	桃	
33	利用者	水稲、野菜	0.2 ha	ha	水稲、野菜	0.2 ha	ha	桃	
34	利用者	野菜、花き	0.1 ha	ha	野菜、花き	0.1 ha	ha	桃	
35	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
36	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
37	利用者	野菜、果樹	0.1 ha	ha	野菜、果樹	0.1 ha	ha	桃	
38	利用者		0.1 ha	ha		0.0 ha	ha	桃	
39	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
40	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
41	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
42	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
43	利用者		0.0 ha	ha		0.0 ha	ha	桃	
44	利用者		0.0 ha	ha		0.0 ha	ha	桃	